

会 議 録

1 会議名

平成29年度 第13回頸城区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

○東北電力送電線新設工事に係る土質調査工事等の実施状況について

○新潟県南部産業団地の現状について

○平成30年度頸城区における主な事業について

○平成30年度頸城区総合事務所の人事異動について

(2) 協議事項（公開）

○自主的審議事項について

○平成30年度地域活動支援事業スケジュールについて

(3) その他（公開）

3 開催日時

平成30年3月27日（火）午後6時30分から午後8時11分まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：井部辰男（会長）、関川正平（副会長）、石野敏、笠原昇治、佐藤学、佐野喜治、西巻肇、芳賀芳明、船木貴幸、山本誠信、横山一雄（委員16人中11人出席）

・東北電力(株)：渡邊副調査役、南雲主査、佐藤担当

・河川海岸砂防課：梅澤課長、澤田副課長

・産業立地課：齋藤副課長、笠松係長

・事務局：頸城区総合事務所 橋立所長、石野次長、市民生活・福祉グループ 石川

グループ長、総務・地域振興グループ 村山班長、田中主査、古川主任
(以下グループ長はG長と表記)

8 発言の内容

【石野次長】

- ・会議の開催を宣言

【井部会長】

- ・挨拶

【石野次長】

- ・上村委員、滝本委員、橋本委員、望月委員、山本光夫委員の欠席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：笠原委員、佐藤委員に依頼

【井部会長】

- ・報告事項「東北電力送電線新設工事に係る土質調査工事等の実施状況について」
(東北電力 渡邊副調査役、南雲主査、佐藤担当、市河川海岸砂防課 梅澤課長、澤田副課長 入室)

【渡邊副調査役】

- ・挨拶

【南雲主査】

- ・資料No.3について説明

【西巻委員】

長坂潟町停車場線の十字路から変電所へ入る道路が少し下がっているのではないかという話を聞いた。

工事はこれから本格化されると思うが、実際に下がった、上がったというような所はこれからどうされるつもりなのか。これから工事が本格化されるなかで対策として事前調査などの計画の話があれば聞かせていただきたい。

【渡邊副調査役】

おそらく大きい道路から変電所に入る道路だろうと思うが、変電所の工事の関係で生コン車等の通行があったかどうか、変電所の工事関係者に確認をしたい。重量のある車両が通ったという事実があれば、市の道路管理者と確認しながら補修していくこ

とが必要だと思う。そこは後日確認をさせていただきたい。

私どもの送電線の新設工事に関わる頸城区での仕様に関しては、今現在どういう工事をするか、あるいはどういう道を通って機材、機類を搬入するかという調査をしている最中である。できあがった段階で、道路の状況を見ながらどの程度養生が必要なのか、また終わった後に下がったりした部分があればどう補修するかという部分も含め、土地改良区、上越市と協議をしながら進めて参りたい。

【西巻委員】

A3横刷りの地図の中に道路に色の付いた所があり、長坂潟町停車場線、新井柿崎線、上越大潟線が若干色の付いた線が何本かあるが、これは何か意味があるのか。

【南雲主査】

位置図的な要素を持っている地図なもので、この場所がこの市道だということわかりやすく付けただけなので特に大きな意味はない。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求める。

【佐藤委員】

工事はどのくらいの期間を要するのか。またこの地図の青い丸印は周辺道路を規制するという事か。

【南雲主査】

工事期間は、4月1ヶ月程度で完了する見込みで、ただボーリング調査ということで、下地盤に着くまで掘るわけで明確な期間はやってみないとわからないところがあり、これまでの経過から見ると1箇所1ヶ月もあれば全て終わっている所なので、4月いっぱい終わるかと思う。

工事の関係で道路等をボーリングで櫓を組んで、それを組み終わったらその場所で工事をするので、特に道路の往来が多くなることはない。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求める。

いずれにしろ工事が本格化する時にどこが窓口になって問題に対応するか、それらもこれからご検討いただきたい。

【井部会長】

「東北電力送電線新設工事に係る土質調査工事等の実施状況について」を終了。

(東北電力 渡邊副調査役、南雲主査、佐藤担当、市河川海岸砂防課 梅澤課長、澤田副課長 退室)

【井部会長】

引き続き、報告事項「新潟県南部産業団地の現状について」

(市産業立地課 齋藤副課長、笠松係長 入室)

【齋藤副課長】

・資料No.4 について説明。

【井部会長】

・委員に質疑等を求める。

【石野委員】

協議会の中で意見として出ているのが、通称中部線を走ってもらうとわかるが凹凸が非常に激しいのと、ハンドルを取られるぐらい危険な状態であり、企業を誘致するということからしても、一番メインになっている道路であることから安全面も含め市の方に、お願いをしたい。

【石野次長】

資料No.5の2ページ目の11「道路維持費」で、皆さんからご意見をいただき、町内会要望でも要望した結果、道路課でも現場の確認調査をして、「市道頸城線道路舗装修繕工事」ということで、今回新規に石野委員が言われたシンボ上越株式会社上越工場から太陽誘電、セブンイレブンまでの間、両側を今回修繕に入ることとなった。皆さんのご意見が反映されたというところである。

【井部会長】

他にないか。

【関川副会長】

何人ぐらいの人が新しい所に入り、合わせて既存の所にはどのぐらいの人が入るのか。

【齋藤副課長】

現在正確な人数は把握していないが建屋としては2階建てで45戸ある。今回増設する予定の所は3階建てで18戸入るところを3棟建てると54戸ということになる。合わせて100戸程度と聞いている。その他民間のアパート等にも入居していると聞いているが、外国人の総人数は把握していない。

【関川副会長】

今、民間のアパートに入居している人がここへ移動するという事なのか。総人数として更に増えるという意味なのか。

【齋藤副課長】

確かに今、民間アパートに入っている人がこちらに移動してくることもあり得るが、今回の増設は新しく太陽誘電3号棟の増築で、そこに入る従業員のためのアパートの整備をしているので新たに増えるということも十分あると思う。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求める。

【佐藤委員】

この情報というのは地域の方々への周知、発信、情報を得る手段というのは回覧板か、それとも広報等で知るすべはあるのか。

【齋藤副課長】

今回の増設等に関し、市の広報は今の所考えていないが、周辺の町内会の皆様には町内会長に説明をすると聞いている。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求めるがなかったので、「新潟県南部産業団地の現状について」を終了。引き続き、報告事項「平成30年度頸城区における主な事業について」説明を求める。

【石野次長】

- ・資料No.5について説明。

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、「平成30年度頸城区における主な事業について」を終了。
- ・報告事項「平成30年度頸城区総合事務所の人事異動について」

【石野次長】

- ・資料No.6について説明。

【井部会長】

- ・以上で報告事項を終了。

引き続き、協議事項「自主的審議事項について」事務局に説明を求める。

【村山班長】

・事務局より説明。

【橋立所長】

説明の通り、土地改良区の事務長に情報提供をして、内容を理事長に伝えていただくようお願いしてきた。今後、地域協議会の方々が大池・小池の件について、協議に伺うので対応をお願いしたい旨、合わせて依頼をしてきた。

【村山班長】

・事務局より説明。

【井部会長】

これまでの経過と今後の予定を含めて皆さんの意見を聞きたい。

前回資料の①、②については論議をしたが、③、④、⑤、⑥についてまずこれで良いのかという確認をしていきたい。

他に何かあるか。

【石野次長】

自主的審議について、論議や活発な発言をいただいているので、前に出席した市の関係4課にその都度情報提供を行っている。また、担当課がそれを見てどう考えているかを聞いてきたので事務局としてお話しさせていただきたい。

各課からは、地元としての要望の内容は理解したが、しかしながら現在行っている地域での取り組みなどもあるのでないか。合わせて、これからこのように取り組んでいきたいというところが見えてこないという意見があった。

【井部会長】

次長の発言も含めて皆さんからご発言をいただきたい。

【石野次長】

具体的な絞り込みもそうであるが、総論的な部分で、頸城区地域協議会として大池・小池を活用していきたいという現在の取り組みもあるかと思う。その取り組みをどのように広げていくか、今現在の活動も含め、今後取り組んでいきたいというところも一緒に盛り込んでいただきたい。

【西巻委員】

もう少し③、④、⑤、⑥を詰めて流れ的なものができれば動き方も出てくるかと思う。④の釣りの部分は、大池・小池の特質上仕方ないという部分があるが、ブラックバスは外来魚で生物多様性という観点から見ると外来種というのは非常に厄介なもの

だと皆さんわかってきて、その対策をどうするかという話を聞いている。あそこはブラックバス、ミドリガメ、もう一つ外来種がいる。この先、考えてみると鯉も何もいなくなって最終的にはブラックバスやミドリガメしかいなくなるという話も聞いている。

⑤、⑥はこういう向きの案であれば、皆さんと詰めていければいいと思う。

【井部会長】

それぞれ大分類をした③、④、⑤まで全部意見をいただいたが、今ほど次長の発言も含め、前回大分類をした①、②については皆さんから論議していただいたので、残る③、④、⑤、⑥についてそれぞれ分類ごとに、現状、課題、解決策としてこんなところでどうかお聞きして、順次進めたいがいかがか。

【全委員】

異議なし。

【村山班長】

先ほども次長が言われたように、地域の実情は分かったが、皆さんでできるというのもあるように思う。実際地元で活躍されている団体は、自分たちもこういう努力はするけれど行政にもお願いをしたい。自分たちも汗をかくけれど、協力を市に求めたい。そういう発言も混ぜていただいたほうが市としても回答なり、対応なりしやすいというような内容の発言だった。

【井部会長】

担当課は先走っている。協議会で論議をしているのは地域を元気にするためには大池・小池をどういうふうを活用するか。その中でどのような課題解決が良いかというのを論議して、私たちは何ができるのかという分類をしていく。元気の出る事業で観光協会を作った時もそういうやり方だった。

まずみんな出し合って、これはどこでやるべきなのかを決めていくのはこれからである。

【佐野委員】

要するに今後の方向として、地元と地主との摺り合わせをして、土地改良区とも協議していくということであり、将来的な方向はおそらく今言われたようなことで方向性は出てくるだろうと思っている。

【石野委員】

大池・小池の観光資源云々ということになったのは3年前で、地元の5地区の皆さんからいろんな意見が出された中で、大池・小池の観光資源を有効活用しようという話が出ていた。

例えば⑥についても現実的には雁金城跡保存会が補助金を活用した中で活動しているが、労働力、技術的な部分で会では取り組めない危険な場所が実際ある。そういう所を是非お願いしたいということで提案させてもらっているし、更に総論からいくと実はどこが現状管理しているのか、どこまで管理、管轄しているのかということも不明瞭である。

【井部会長】

これまで大分類をした論議をしていない③から順次、この解決策で良いのかどうか皆さんからご審議をいただきたいと思うがよろしいか。

【全委員】

異議なし。

【井部会長】

小池周辺の桜の整備について、既に観光協会も含めて維持管理については何回か実践をしてきているが、これも業者に委託している物もあるのか。そのへんも含めて、枯れている桜の補植、維持管理も必要である。

【西巻委員】

周りが全部雑木林、杉林ということもあり、雪での倒木、枯れて倒れた木とか、そういうのも考えると枝が張り出していれば結局枯れると落ちてくるので、道路側の整備も合わせて考えなければいけない。

【井部会長】

・他に質疑等を求める。

【笠原委員】

今年の冬も歩いてみたが、枝もさることながら落ち葉が遊歩道や側溝にいっぱい詰まっている所があるので、今後どうしていくかも考えて環境整備をやっていかなければならない。

【関川副会長】

昨年、少人数で遊歩道を歩きながら小枝レベルの整備をした。区内の皆さんにも声を掛けて、遊歩道の両脇の整備程度でも参加していただければ親しみもわき、大池・

小池の周辺を歩いてもらうこともできると思う。その音頭取りをどこにするかというのはまた別の問題として、区民が参加してクリーン活動をやるということも大切ではないかと思う。

【井部会長】

ここに記載した内容を中心に周辺の景観を維持していくということでしょうか。

④「大池・小池の釣り、並びにキャンプ場利用の有料化と管理事務所の設置」について、先ほど釣りについては外来種問題も含め、今いるのはブラックバス、ブルーギル、ミドリガメ。これまでずっといた大きくなった鯉、フナというのは今もいるので、6月の産卵期になれば大変である。そういう点では、釣り、キャンプ場そのへんの判断はどうかというのものもある。

【芳賀委員】

キャンプ場の有料化については、土日だけで月8日間、テント1張りで例えば1,000円として、5組来たとして月4万円にしかならない。そのために係員を置いて、施設を作るということになるとペイしない。良い方法を考えなくてはいけない。

【石野委員】

上越、妙高を含めた中でキャンプ場など施設があるが、全く無料というのはあまり知らない。だいたい500円、1,000円レベルの費用だと思う。

現在、キャンプ場を借りる場合は、ビジターセンターに連絡を入れて、名簿を書いて、テントを借りて張るという流れになっているから、当然、ビジターセンターでは窓口的な仕事をされている。お金が絡むと単純じゃない作業になるかもしれないが、あえて人員を新しく増員するところまではどうかと思う。

【井部会長】

解決策としては今発言があった問題も含めて、これから解決していかざるを得ない。大きくりとしては以上でよろしいか。

【石野委員】

西巻委員の外来種の対策というのは今あちこちで池さらいがやられている。一つのイベントみたいな形にして、本来いてほしい魚の方に仕向けるということのもあっていいのかと思う。

【関川副会長】

第3キャンプ場は家族、小口のキャンパーで大口になると第1キャンプ場に行くよ

うだ。大型バスが入っても回れないし、立木が車の通行の邪魔になる。駐車場まで行ってもUターンができないという話を聞いた。大池の周辺も含めて整備をするということになれば考えていかなければいけない。

【船木委員】

外来魚の駆除ということだが、釣り客からするとターゲットはブラックバスなのでいなくなってしまうと、逆に釣り客が来ない。世間ではブラックバスは駆除の対象でだんだんとブラックバスの居所がなくなっている。本来いてはいけない魚を逆手に取ってブラックバスが釣れるというのをアピールすれば、ブラックバスのお客さんも来るのかと思う。

【井部会長】

それも一つの方法論として、それらを含めて、ここに記載したような解決策でどうかと思うがいかがか。

【全委員】

異議なし。

【井部会長】

引き続き、「大正山の整備」について

大正山の「大正」についていろんな論議もあるが、今回はそのまま大正山とさせていたただいているがこれについてはどうか。

【船木委員】

頸城にいながら大正山がどこにあるのかわからない。どのへんにあるか教えていただきたい。

【井部会長】

第3キャンプ場から北側のちょうど真正面の山である。合わせて雁金周辺の整備というのも前回提起されて、大池・小池を取り巻く大正山、雁金を観光資源として整備をしていこうということで皆さんから決定をいただいて一つの分類にしたところである。これについて何かあるか。

【石野委員】

皆さんから雁金についてももう少し知識を持っていただきたいと思って、一昨日の日曜日に雁金山に登って今回是非修復してほしい場所の写真を撮って、資料を作ってきたので説明させていただきたい。

・別紙資料について説明

【井部会長】

石野委員から大変なご努力で資料提供をいただいたので、皆さんの方で何かご発言をいただきたい。

【関川副会長】

保存会の皆さんから一生懸命やっていたいただいているのは主に林道側のコースで、頂上の狼煙台に近い側は写真の通り、ちょっと危険だという感じがする。大池側からの道は危ない道の連続で、とても素人が手を出せるようなコースではないような気がする。

観光振興課の山城ツアーで一昨年に雁金城が対象になった。私もここ何年か参加させてもらっているが、大勢の方から狼煙台まで上がっていただき、頂上からの眺めにみんな感嘆されていた。できれば大池側からのコースも、完璧に安全というわけにはいかないかもしれないが何らかの対応策がほしい。

そういう意味では石野委員がおっしゃるように、やはりみんなで大正山の整備も含めて、どこまで職人にお願いしなくてはならないか、見極めたらどうか。

【笠原委員】

安塚の直峰城もあるが、あそこはかなり整備されている。そんなに危ない所はないので、そのへんをどういう形で整備されたのか他の情報も入れてできるものはやっていたくような形が良いかと思う。

先ほどから出ているように自主審議であるわけで、まず地域協議会委員が実態を把握し、個人的には行っていると思うが、全体で行くというのは情報の共有化にもなると思うので是非実現していただきたい。

【井部会長】

今ほど既に今後の取り組み等についてのご意見があったが、大池・小池の観光資源としての利活用について、これまで論議してきた解決策はこんなところで一つの区切りとしたい。

これから具体的にどうするかについては皆さんと協議をして、どう進めるか現地を見て皆さんで共有するという方向で、また地元といつどのような意見交換をするかというところに移って行きたいと思うがいかがか。

【船木委員】

地域住民の顔合わせとか説明会というのは地元だけか。頸城全体ではないのか。

【井部会長】

それも含めて皆さんからご意見をいただきたい。

【船木委員】

各地区で大池の話も上がっていると思うので、どこでもいいので頸城区民全体で大池の観光資源としてのお話をしていければと思う。

【村山班長】

・事務局よりスケジュール案について説明。

【井部会長】

4月の下旬頃になると八重桜が開花するので、今年は第1回大池八重桜まつりが計画されるかもしれない。それに合わせて現地調査、そして意見交換を区全体の皆さんからもおいでいただき、ビジターセンターで行う計画をしたらどうかと思う。粗々の計画、先ほど説明があったようなところでいかがか。

【全委員】

異議なし。

【西巻委員】

石野委員から写真をいただいたが、例えば4番の階段の作ってある所はたぶん周りは雑木林だったと思う。その整備にあたってはどんな方法で、地権者の皆さんの同意を得られてきたのか。それと全部が地元の方ではないような気がするので、そのへんも合わせてどんな手順で手入れができるまでになったのか聞きたい。今後の整備に関してもたぶん同じような課題がでてくると思うので、わかる範囲で教えていただきたい。

【石野委員】

西巻委員がおっしゃったように地権者といろいろな話し合いをした中で、今があると思う。もちろんそのへんは保存会の事務局に確認していきたい。

自主的審議事項の中の一つの項目として雁金云々という話をここで提供するにあたって、一応保存会の会長と事務局の峰村さんに話をしてきた。会員が50名ぐらいで実際活動されている人は、せいぜい20名前後になってしまう。全員が集まってというのは、なかなかできなくて、更に年齢が増していくのでやれる仕事の範疇がだんだん狭まってきた。市で整備をしていただけるものなら是非そうしてもらいたいと会長、事務局からも言われてきた。

【村山班長】

今、粗々で現地説明会の話をしていただいたが、4月28日になるかどうかは別として28日は土曜日で休み。午前中に現地視察、午後から意見交換会で一日仕事になるという粗々の案で、その点も踏まえて今後は会長と事務局に一任していただけるということではよろしいか確認だけさせていただきたい。

【井部会長】

今の話も含めて私と事務局に一任をいただいて、これからのスケジュールを決めて参りたいがよろしいか。

【全委員】

了解。

【井部会長】

・他に質疑等がなかったので、「自主的審議事項について」を終了。

【芳賀委員】

事務局と会長の先ほどの食い違いというのは文章の解決策案で「ほしい」という文章で終わっているの、「ほしいだけか」という気持ちが担当課の方にあったのだと思う。

【橋立所長】

芳賀委員のご意見は、本当にその通りだと思う。石野委員からも話があったが、これから解決策として市、地元の新しい団体、町内会などいろいろ分類していった中で今の
大池を活性化していくということの食い違いがあったかもしれないが、最終的には地元からの意見を聞いたりしながら、分類をしていくなかで意見書、地域活動支援事業、町内会でやって下さいとか各種団体でやって下さいと位置付けをしていくという形で進めていくようになるのかと思う。

【井部会長】

先ほど食い違いがあったみたいだが真意は同じある。

全体を論議して雁金城跡を残すには主体的に何をやっていくというのはこれから決めていくということになる。

続いて、協議事項「平成30年度地域活動支援事業スケジュールについて」事務局より説明を求める。

【田中主査】

・資料No.2について説明。

【井部会長】

- ・「平成30年度地域活動支援事業スケジュールについて」を終了。

- ・その他

【石野次長】

- ・次回平成30年度第1回の地域協議会の開催日程は、4月19日（木）に予定している。

【井部会長】

- ・次回は4月19日（木）に開催をして参りたい。
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-530-2311（内線 212）

E-mail：kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。